

## 「イグサ研究」

【テーマ】 イグサの調査

【目的】 イグサの知名度を上げる

【内容】 イグサの栽培と販売

調査① 令和5年度

株分けしたイグサを鉢に入れ実習庭園内の池にて栽培



調査② 令和6年4月～12月

赤玉土とピートモスを入れた鉢、赤玉土とピートモスとバーク堆肥を入れた鉢で成長の差を比較する

調査③ 令和6年6月～12月

②で使った鉢両方に腐葉土を追加して成長を見る

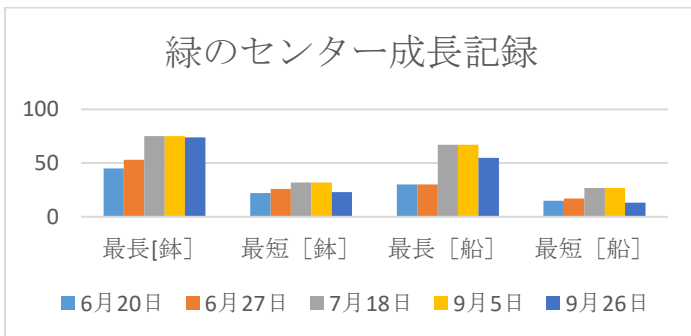
調査④ 令和6年6月20日～9月26日

緑のセンターの水場にイグサ入り鉢を設置



【結果】

緑のセンターの成長記録では、夏休み前までは順調に成長していったが、その後成長が止まり枯れだした。そのため水温と窒素濃度の計測をおこなった。



商品化① 香り箱

木箱にイグサを入れて、香りを楽しめるようにしたほかインテリアにもできるように

→香りも乾燥させたときの色味もよかったので商品として販売することに

商品化② 消臭袋

イグサには消臭効果があるので、実際に収穫して乾燥させたものを袋に入れ、自分達の靴箱にいれ検証をする。

→効果はありだったので袋ではなく、小瓶のようなものに入れ立てて使えるようにしたものを商品として販売。



【販売結果】

10/12のボタフェスで、試作を5個販売

11/10の創立記念祭では、19個を販売

12/15の園芸フェスタでは、5個を販売

【考察】

販売を通して、いろんな人にイグサの話をしたりしたことによって多少ではあるが、知名度を上げることはできたと感じた。栽培では、最初の頃は順調に成長していったが、一定の期間を過ぎると何故か成長が止まってしまうことがあった→根が増えすぎて鉢の容量を超え成長が出来なくなった・暑さにやられた・窒素量がなにかおかしかった…など様々なことが考えられる。

【今後の課題】

成長が止まってしまった理由がわかっていないので、比較実験をしてその原因を探る研究をする必要がある。

根の容量が原因で成長が止まったと考えたので、大きい鉢など、サイズ違いを複数準備し栽培していく。

もっと魅力的な商品を考える。

